



2019年7月31日

各位

会社名 オーナンバ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 遠藤 誠治
 (コード番号 5816 東証第二部)
 問合せ先 常務取締役企画経理部長 木嶋 忠敏
 (TEL. 06-6976-6101)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年12月期の決算発表時(2019年2月6日)に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2019年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年1月1日~2019年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 18,500	百万円 300	百万円 300	百万円 150	円 銭 11.96
今回修正予想(B)	17,710	290	200	40	3.19
増減額(B-A)	△790	△10	△100	△110	—
増減率(%)	△4.3	△3.3	△33.3	△73.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	17,710	248	244	76	6.09

2. 修正の理由

2019年12月期第2四半期累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、太陽光発電関連製品の需要の低下、国内外競合メーカーとの価格競争の激化、米中貿易摩擦の影響による中国の設備投資の伸び悩みなど、厳しい状況が続きました。

このような状況の下、太陽光発電関連製品や電線・ケーブル部門の売上の減少などがありましたが、当社グループは、自動車・産業機器用製品など成長分野での製品開発・新規開拓の促進などに積極的に取り組みました。その結果、売上高は前回発表予想を下回るものの前第2四半期連結累計期間なみとなる見込みです。

利益面では、太陽光発電関連製品の売上の減少、新興国の賃金上昇などによる生産コストの増加などがありましたが、ワイヤーハーネス部門の売上高の増加、積極的な原価低減などにより、営業利益は前回発表予想を下回るものの前第2四半期連結累計期間を上回る見込みです。経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、円高による為替差損や海外子会社での過年度関税等の計上で、前回発表予想を下回る見込みです。

なお、2019年12月期の通期業績予想数値につきましては、前回公表した業績予想を据え置いております。今後、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

※ 当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上